

委員会の焦点

～委員会審査報告から～

(仮)市民交流センター 関連予算承認 経済建設委員会

当委員会には、16件の議案と請願2件が付託されました。主なものは、平成18年度予算案の審査でありました。その一部を紹介致します。

先ず、塩尻市最大のテーマである、(仮称)市民交流センター建設に伴う予算について審査しました。現地調査と基本設計等として5千400万円。また、これと並行する事業のTMO支援に1千250万円が認められました。また、旧榑川村施設のならい荘に1千500万円の運営貸付金、地場産センターには、運営補助金4千万円、貸付金4千万円が認められました。より一層の改善等が要望されました。

また、JR広丘駅舎も新年度において、着工の準備が進められるとの報告もされました。市営床尾団地二期工事建設に向けては、新聞報道にもあった、炊事場壁の構造不適などを教訓に、心配のない設計施工をするよう要望がありました。



新駅舎着工予定の現広丘駅舎

乳幼児医療費 給付対象拡大へ 福祉教育委員会

条例案件6件、関係する18年度一般会計予算、特別会計予算、関係する17年度一般会計補正予算などについて審査を行いました。議案15号(9ページ案件表参照)については賛成多数、その他の案件については全員一致をもって

て原案のとおり可決すべきものと決定しました。また、請願2件、陳情1件を趣旨採択、陳情2件を採択しました。条例案審査のなかで、乳幼児福祉医療給付の受給資格の所得制限をなくすことについて、受給対象者が620人増の4千80人になる見込みとの説明を受け了承しました。18年度予算審査では天使のゆりかご



乳幼児福祉医療給付の窓口
(保健福祉センター1階 福祉課)

事業についての質問に、今年度利用で妊娠が多かったので、来年度は利用者を少なめにみつめたが、実際は引き続き利用希望が多数寄せられているとの説明がありました。また、体育館の耐震診断に関して、現体育館も残していくのかとの質問があり、耐震診断結果により、方向性を決めていきたいと答弁がありました。

景気回復 市税増収へ 総務環境委員会

本定例会で付託された案件は、職員の給与改定や、国民保護協議会を設置するなどの条例案件、平成18年度の一般会計や特別会計予算など15件でした。審査の結果、すべて原案のとおり可決すべきものとなりました。

職員の給与改定については、人事院勧告による国家公務員の給与改定に準じて給料を引き下げる内容です。国民保護協議会の設置については、アメリカの行う競争に日本を引き込むもので反対するなどの意見もありましたが、賛成多数で認めることになりました。

新年度の一般会計予算では、歳入で市税が前年度比3.1%増、地方交付税は5.9%減などで263億円の規模となりました。国保特別会計予算では、財政維持のため今年と同じように国保税の値上げ分と同額の9千万円を一般会計から繰り入れていきます。一般会計や国保会計の補正予算は、決算見込みによる補正がされました。



歳入で、個人、法人市民税の増額を見込む